

## 「つぶゆたか」の鉄コーティング湛水直播栽培による飼料用米安定生産のための生育指標と栽培法

### 【1 成果の概要】

飼料用米「つぶゆたか」の鉄コーティング湛水直播栽培において、倒伏を抑えつつ、単収 720kg/10a 前後を得るための生育指標及び栽培法は以下のとおりです。

- ・ 種子準備 合格種子、鉄コーティング量は乾籾の 0.5 倍重
- ・ 施肥（基肥） 肥料「直播用 200」（LP-N100%, LP30:LP70=5:3）で窒素成分 10kg/10a 相当〔または速効性肥料（硫酸等）基肥 N8g/10a+幼穂形成期 N2kg/10a〕
- ・ 播種様式 点播
- ・ 播種量 乾籾 5 kg/10a 前後（目標苗立ち本数 80~110 本/m<sup>2</sup>）

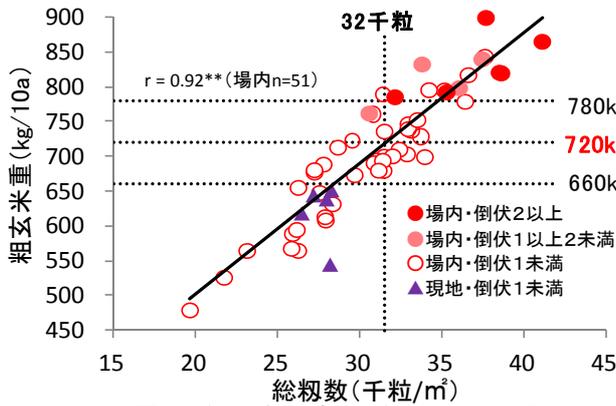


図1 総粒数と粗玄米収量の関係

倒伏(0:無~5:甚)を2未満に抑制できる限度の総粒数は32千粒/m<sup>2</sup>、このときの粗玄米重720±60kg/10a。

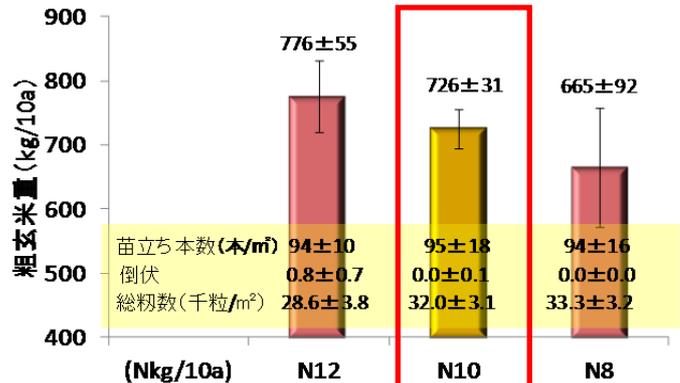


図2 施肥量別の収量

※N；施肥チッソ量（「直播用 200」，基肥一発施用）

施肥 N10kg/10a、苗立ち本数 80~110 本/m<sup>2</sup>の範囲内で、粗玄米重 720kg/10a 前後を確保できる。

表 目標収量と収量構成要素等

粗玄米 収量 (kg/10a)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	総粒数 (千粒/m <sup>2</sup> )	粗玄米 千粒重 (g)	登熟歩合 (%) (比重1.00以上)	稈長 (cm)
720±60	400±50	32	24.5±1.2	95±3	88±5

目標収量確保に必要な穂数は 400 本/m<sup>2</sup>前後。

単収 700kg/10a  
超のほ場



### 【2 留意事項】

- (1) 播種後は苗立ち安定のため落水出芽管理を必ず行うとともに、有効茎（穂数となる茎；400 本/m<sup>2</sup>相当；表）を確保した後は中干しを確実に実施して下さい。
- (2) いもち病の基本防除は必ず実施して下さい。なお、出穂以降の農薬の使用は、収穫物の家畜への給餌形態（籾殻付き又は玄米）によって一定の制約があることから、不明な点は普及センター等指導機関にご相談下さい。